

きたうらこう

北浦港（土庄町管理地方港湾）

北浦港は小豆島北岸の中央部に位置しています。

本港は、古くから瀬戸内海における東西交通の要衝であり、豊臣秀吉の大阪城築城の際にはこの港からも、石材を積出し、その一部は今なお旧港南防波堤上に残石として残っています。

本港の整備は、昭和14年に入港船舶の増加に対処して新港が築造されたのに始まり、以後、数次の改修を経て、現在は、平成6年より隣接する大阪城築造残石公園と共に着手した整備工事を終え、現在の姿となっています。

